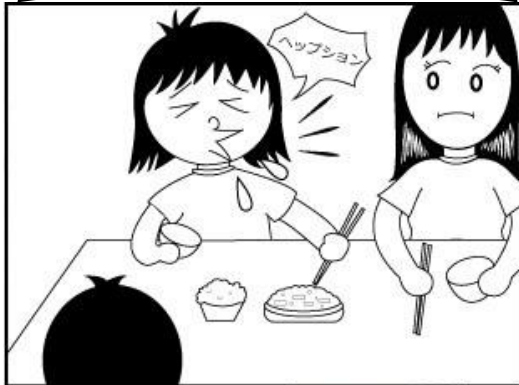


## フレフレ!子育て相談室④ ~子どものしつけについて~

昨年度、大好評を得ました子育て相談室。今年度も引き続き、みっくんパパが登場します！今年度第1号となる今回は、「子どものしつけ」についてお話ししたいと思います。

### みっくんパパの子育て奮闘記

作 たしろ みつる



### 子どものしつけについて

『しつけ』とは、その子にどう育ててほしいのか、何を身に付けてほしいのか、家族や社会が期待していることを、その子が自主的、自発的に動けるよう教えていくこと。そして、期待する行動が習慣になって、考えなくても自然とできるようになることだと思います。ですから、「〇〇しようね。」「〇〇するとどうかな？」と子どもの自立を促すことが必要になります。また、賢い子に育てようと叩いたり、つねったりして叱るのは、しつけとしてふさわしくない行動です。しつけには、体罰が当たり前と思っている人もいますが、体罰は、頭の働きや心の成長までも悪くしてしまいますので、絶対にやめましょう。しつけをするためには、「言ってもわからないから、叩く。」という人もいますが、体罰を親から受けることで、その子どもは他の子に暴力を振るうようになりかねません。親が「人に暴力を振るってははいけません！」と言いながら自分の子を叩いては本末転倒です。体罰は間違ったしつけですので、絶対にやめましょう。



### 子どものしつけ ワンポイントアドバイス



- 子どもの顔を見ながら話しましょう！
  - 子どもの目を見て、毅然とした態度で叱る（諭す）。
  - 大人一人で叱る（諭す）。複数の大人で叱らない。
  - くどくどと、同じ事を繰り返して、長時間にわたり叱らない。
  - ヒステリックに叱らない。
  - その時の大人の気分で、叱ることをコロコロ変えない。
- ※また、子どもが良いことをした時やがんばった時には、しっかりと誉めてあげるのも「しつけ」のひとつではないでしょうか。

